

MELON 情報紙

Miyagi Environmental Life Out-reach Network



2010年8月★第89号

第3回MELON環境市民講座 『田んぼの学校』を開催



田んぼの生きものに興味津々

日時：7月4日(日)
9:00～15:30
場所：大崎市田尻
講師：佐々木陽悦氏
(みちのく田んぼの学校)
参加者：計49名
(大人23名、子ども26名)

毎年開催している「田んぼの学校」ですが、今年は特に関心が高く、過去最多の親子にご参加いただきました。生きもの観察や田んぼに入る体験は貴重で楽しかったと大変好評でした。



たくさんの親子にご参加いただきました

MELONとは 財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク ― 通称「MELON」。1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体で作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

MELON 会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。

MELON会員特典

- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
 - ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
 - ボランティアや部会に参加することにボランティアポイントが1個もらえ、5個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
 - 年5回の情報紙をお届けします。
 - メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。
- ～入会希望の方は事務局までお問合せください～

Index

- P1. 「田んぼの学校」レポート
- P2-3. MELON会員と市民のつどいレポート
- P4. EPO東北通信
シリーズ
かんきょう読み聞かせ
- P5. 協同組合のコーナー
MELON20周年を目指せ！
50人リレートーク
- P6. 「リサイクルセンター見学会」レポート
- P7. ストップ温暖化センターみやぎ「通信」
- P8. 投稿欄、イベント一覧、編集後記

第15回MELON会員と市民のつどい 「見つけよう！ 暮らしの中のエコ」

日時：6月12日(土) 13:00～16:30
会場：せんだいメディアテーク1Fオープンスクエア
(青葉区春日町2-1)

MELONでは年に1回会員の皆さんに活動を報告するMELON維持会員総会を「会員と市民のつどい」とし、会員だけでなくできるだけ多くの方にご参加いただき環境について考える機会をつくりたいと考えて開催しています。

初夏のさわやかな晴天に恵まれ、会場奥では維持会員総会と記念講演を行い、会場前方ではさまざまな展示やブースを設けました。

また、MELON会員限定企画として、企業会員からご提供いただいた景品をかけて「クイズ大会」を行いました。クイズの内容はMELONや環境に関することで、みなさん楽しく参加していました。途中、ベガッタ君が飛び入りで賞品のプレゼンターとして登場

し、会場を大いに盛り上げました。

展示ブースでは昨年好評だった遠藤秀一氏の「南国の島ツバルの写真展」を展示。地球温暖化の影響によって沈みゆくツバルの自然や住民の様子をパネルで紹介しました。

また今回はMELONの活動を分かりやすく紹介するために部会毎にブースを出展しました。

「紙すき体験」や「リサイクルプラスチックの植木鉢」のプレゼント、昔なつかしい「竹の水鉄砲」の作成体験があり、MELON情報センターの「エコ紙芝居の上演」では、立ち見が出るほど人気でした。他のブースも工夫を凝らして来場者を楽しませていました。

来場者は約130人と大変にぎわいました！ 当日、お越しいただいたみなさま、当日ご協力いただいたボランティアのみなさまありがとうございました。



総会では部会の活動報告を担当者が行いました。



遠藤秀一氏の「南国の島ツバル」の写真を展示しました。



クイズ大会ではベガッタくんがプレゼンターをしてくれました。



大人気のエコ紙芝居！ 立ち見が出ました！

記念講演「企業の環境取り組みはあなた（市民）が変える！」

川北秀人氏（IIHOE「人と組織と地球のための国際研究所」代表）

今年の記念講演では、NGO・NPOのマネジメントや企業の社会的責任への取り組みなどの専門家である川北秀人さん（IIHOE「人と組織と地球のための国際研究所」代表）をお招きしました。

タイトルは「企業の環境活動はあなた（市民）が変える！」と題し、消費者の企業（製品）の選び方・消費行動が、企業の取り組みを変えていくことなどをお話しいただきました。講演の概要は以下のとおりです。

CSR（企業の社会的責任）とは、企業の社会貢献活動をさしているのではなく、企業の行動・事業活動そのものに社会や環境への配慮を組み込んでいく、ということです。よって、企業が社会からの期待に対していかに誠実に約束を履行できるかがカギとなります。消費者の視点からも企業が社会に対してウソをついていないか、誠実に事業を履行しているかを見極めて、そういう企業の製品を積極的に選ぶことで、企業の取り組みを間接的に支援することにもなるのです。

また、今後は企業だけでなくSR（社会的責任）、つまり全ての組織の社会責任が問われることになり、NPOや行政もそうした意識を持っていないと生き残れない時代になるのです。

ここでご紹介した内容はほんの一部ですが、川北さんのお話しはとても興味深く来場者にも好評でした。盛りだくさんの内容で、時間が足りなかったことが残念でしたが、私たちの日頃のくらしが重要な役割を担っていると感じる講演でした。ご講演の後には会場に残っていただき、30分ほど希望者とのフリーディスカッションの



講師 川北秀人氏

時間を設けましたが、こちらにも10数名の方が参加し、積極的に川北さんと意見を交わされていました。

とても奥が深い、少し難しいテーマではありましたが、川北さんの親しみやすい人柄のおかげもあり、わかりやすく楽しい講演となりました。

当日の講演会の資料は、川北秀人さんのブログで公開されています。CSRや市民活動のポイントなどさまざまな経験と実例をもとにした情報です。当日ご講演を聞くことができなかった方も、聞いた方もぜひご覧ください。

<http://blog.canpan.info/iihoe/>
「IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]」



講演後講師を囲んでフリーディスカッション

EPO東北通信



2010年4月から環境省と財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）が協働して運営しています。東北地域の環境活動を促進するために、人と人をつなぐ拠点となることを目的としています。

オフィス案内

◆新聞情報

各社新聞に掲載された、東北6県の環境にまつわる記事を分野ごとにファイリングしています。EPO東北オフィスで自由に閲覧していただけます。

◆EPOサロン開催

不定期にEPO東北オフィスで「サロン」を開催いたします。たくさんの方に環境について考えてもらう「きっかけづくり」をしようと、『市民目線』で企画していきます。

◆チラシ設置

環境イベントチラシ、冊子を設置しています。情報収集に・広報にご活用ください。



豊富なチラシ

◆ミーティングルームの貸し出し

環境活動に関するミーティングや環境をテーマにした催事にご利用ください。

◇貸出日 月～金10:00～18:00

(休：土日祝・お盆・年末年始)

◇利用人数 25名程度 最大30名まで

ご利用希望の方は事前にEPO東北事務局までお申し込みください。

＝ご利用料金＝
無料です！



〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-5-1 オークビル 5F
【TEL】022-290-7179 【FAX】022-290-7181
【Email】info@epo-tohoku.jp
【HP】http://www.epo-tohoku.jp



こすずめのぼうけん

仙台市内が「すずめ踊り」を楽しんでいたころ、この踊りの象徴であるスズメがどんどん減っているんじゃないかという話題が新聞やインターネットをにぎわしていました。東京では1960年代の10分の1になってしまったという調査もあるらしい。そういえば、庭のスズメがうるさくて目が覚めるなんてこともなくなりました。てっきりわが家のドラネコが追い払ってしまったとばかり思っていました。本当のところいったいどうなっているのでしょうか。

童謡作家スズキ・ヘキの「オテントサンアリガトウ」には最初のフレーズから「スズメ」が歌われ、金子みすゞの「雀のかあさん」はスズメと人間の関係を鋭くとらえた本当に胸を打つ詩です。こんな風に昔話も含めて、昔から子どものいる風景にはスズメが登場していました。

でも、スズメは私たちのあまりにも身近にいるためでしょうか、気にもとめられず、あまつさえ米を食べ



るといって害鳥扱いもされています。2005年の調べでは農業に被害をもたらすのはカラスがダントツで33億円を超えるのだそうですが、スズメはその4分の1より少ない。しかも、スズメによる被害は年々少なくなっているようですが、被害が少なくなっているのはスズメの数が減っていることと直接関係があるかどうかはわかりません。私たちも、もっとスズメに関心を寄せてみましょう。子スズメが一人前になるまで与えられる虫の数は11,520匹になるという計算した人もいます（新聞でも紹介された、太田真也「スズメ百態面白帳」）。それに、スズメは朝寝坊だと聞けば（柴田敏隆「カラスの早起き、スズメの寝坊」）、私のようになんとなく親近感が湧く人もいるでしょう。

子どもたちのために、ルース・エインズワース 作、石井桃子 訳、堀内誠一 画「こすずめのぼうけん」（福音館 1977年）を読んでみましょう。この本は本当にたくさん読まれ続けてきた本です。身近なスズメに思いを寄せるためにももう一度読んでみましょう。

各協同組合からのお知らせ

MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

みやぎ生協からのお知らせ

『わたしたちの暮らしと生物多様性』

2010年は国連「国際生物多様性年」です。そこで、今年のキーワード「生物多様性」について理解を深める学習会を開催します。10月に名古屋で開催される「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」でどんなことが話し合わせ、何が決まるのか、そして、わたしたちの暮らしにどう関わるのか伝えていきます。

と き 9月15日（水）10時30分～12時30分
 ところ エル・パーク仙台 スタジオホール
 お 話 岩淵成紀さん（NPO 法人たんぼ理事長）
 参加費 無料 定員190名（定員になり次第締切り）



申し込み・問い合わせ先

みやぎ生協生活文化部
 〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2
 TEL：022-218-3880 FAX：022-218-3663
 e-mail：sn.mkankyok@todock.jp



MELON20 周年をめざせ！ 50 人リレートーク



第32回目の執筆者
 瀬上京子さん
 （オープンガーデンみやぎ）

「庭からの贈り物」というと、皆さんは何を想像しますか？ 甘く熟したブルーベリーやトマト？ それとも、リビングを飾る美しいバラの花でしょうか？

ある日、私の元に、こんなメールが届きました。「今朝、息子が出発しました。ちょっと泣きましたが、がんばって庭仕事をして落ちつきました。お庭があってよかったです。」就職が決まって、息子さんがその日の朝家を出た‘庭友’からのものでした。メールをくれた庭友のように、母親にとって子供が巣立つということは、もう自分が世話をしなくても、子供は一人で生きていけるということで、とてもうれしい反面、それはとてもさみしいものです。何年前か前に彼女と同じ思いを経験した私には、よく分か

りました。でも、彼女と同じように、私も庭の植物たちの世話をするうちに、心が落ち着き癒されていきました。ペットも同じだと思いますが、自分が世話をしないと生きていけないものがある、自分が必要とされている、ということが意識はしていなくても、人を元気にするように思います。

著名な園芸家は、言います。「朝起きて、しなければならぬことがたくさんあるのは幸せなこと。」剪定、水遣り、植え替え、草取り。庭仕事は一年中続きますが、そういう意味で、私にとっての「庭からの贈り物」は、甘いブルーベリーや美しいバラはもちろんですが、日々私を忙しく元気にさせる庭仕事、そのもののように思うのです。やってあげている、と思っていることに、実は元気をもらっているのかもしれないね。

… 次号執筆者紹介 …

三品茂子氏
 （株式会社 三創）



2010年度 第2回MELON環境市民講座 「リサイクルセンター見学会 野菜くず、トレーの行方は？ in大衡村」

日 時：6月23日(水) 8:45～14:45
 参加者：20名
 見学会場：「みやぎ生協リサイクルセンター」
 「エフピコ東北リサイクルセンター」

今回の見学会は、「企業&環境プロジェクト」の活動の一環として、MELON企業会員の2つのリサイクルセンターを見学しました。

当日は梅雨空で小雨が降る中、仙台駅西口からマイクロバスで大衡村にあるリサイクルセンターへ向かいました。バスの中ではリサイクルに関するクイズを解きながら移動しました。

最初の見学場所である「みやぎ生協リサイクルセンター」に到着。この場所では「野菜くず」を有機肥料に加工しています。野菜くずはみやぎ生協の野菜コーナーや惣菜コーナーなどから回収されてきたものです。有機肥料は契約している地元の農家の畑や田んぼに使用され、できた野菜やお米は、お店で再び販売されます。また、このリサイクルセンターでは他に、ダンボールや牛乳パック、卵のプラスチックケースなどもお店から回収して再資源化しています。

次に「エフピコ東北リサイクルセンター」へ移動。ここでは使用済みのプラスチックトレーがお店から回収され、洗浄、溶解され再びお刺身などを入れるプラスチックトレーに生まれ変わる工程を見学しました。リサイクルトレーは表面に新品の透明なフィルムでコーティングされるので衛生的です。

プラスチックトレーのリサイクルのポイントも何点が説明していただきました。一つ目は使用済みのプラスチックトレーは

軽く洗って、乾燥させてから回収ボックスに投入することです。二つ目はよく惣菜コーナーで直接プラスチックの部分にシールが貼っていますが、リサイクル施設によってはシールの部分がリサイ



エコトレーの完成
 (表面に透明のフィルムでコーティングするので衛生的です。)



◀お店から回収した野菜くずです。



野菜くずを粉碎して発酵ヤードで有機肥料にします。

クルできない場合もあるとのこと。家庭ではシールの部分をはさみで切ってリサイクルに出してほしいとのこと。

参加者の方々は限られた時間の中で熱心に見学や質問をしていました。また、こういった見学会をもっと開催してほしいとの声があり、3Rの意識が予想以上に高いことがうかがえる見学会となりました。



参加者が活発に質問をしました。

ストップ温暖化センターみやぎ『通信』 Vol.46

宮城県から2プロジェクトを気候チャンピオンに任命！

「チャンピオン」には「推進する」という意味があります。地球温暖化防止のためのプロジェクトを推進している高校生…それが「気候チャンピオン」です。

センターは今年度から英国の公的団体「ブリティッシュ・カウンシル」が行う、高校生の活動を支援する「気候チャンピオン」事業に協力しています。

宮城県からは2校が代表となり、7/10、11(土、日)にブリティッシュ・カウンシル東京センターで行われた研修会及び任命式に参加しました。研修を通して全国から集まった18プロジェクトの代表の皆さんと交流を深めたようです。

「気候チャンピオン」の皆さんの活動は、ウェブサイトですぐにご紹介しますのでどうぞお楽しみに！



最後列・中列左端／宮城県農業高校さん
中列右端／東北生活文化大学高校さん

●宮城県農業高等学校 農業機械科（名取市）●

「new culture 新しい文化 新しい栽培」

中古車の空調関係の部品を植物工場の空調設備として再利用し、カイワレ大根などの植物を育てる。また、太陽光発電によって植物工場の冷暖房を運転する。

●東北生活文化大学高等学校（仙台市泉区）●

「アートで世界を救う!!」

～みんなでつくろうエコアート～

全校生徒や地域の方々からペットボトルのキャップを集めてオブジェを製作する。校内に展示後、キャップ回収リサイクルを通してワクチン寄附を行うNPOに送る。

インターン生の活動が始まりました！

6月から来年1月末まで2名の大学生がインターン活動を行います。どうぞ応援とご指導をお願いいたします！

<太田依里さん>



環境問題や大学で学んでいる組織心理学の観点からどのようにアプローチすれば効果的な普及啓発が行えるかに興味があります。

<正野琴子さん>



温暖化防止を考える上で、私なりに発信できることは何か、常に学ぶ姿勢で取り組み頑張ります。

寄附金をいただきました

7/7(水)に㈱ウジエスーパー様より寄附金248,000円をいただきました。誠にありがとうございました。

この度の寄附金はレジ袋の有料化に伴う販売収益金です。有料化によって全店舗でなんと年間430万枚のレジ袋が削減できたそうです。当日は昨年のエコdeスマイルコンテスト、そして全国大会で発表をした㈱ウジエクリーンサービスのスタッフの方々も来訪され、久々の再会を喜びました。

長谷川理事長は「ごみ減量や環境学習に活かします」とお礼の言葉と決意を述べました。有意義な活動を展開できるよう、尽力いたします！



ありがとうございました！

89 号の投稿テーマ

「自分の身近な生物多様性」

近所の学校の桜の木があった、以前は毛虫がいたので、最近いなくなりました。そしたら、鳥の姿も見えなくなりました。(匿名)

街路樹のアブラムシを駆除しろという人がいますが、人間の都合で駆除したらどんな影響が周りに出るのか、心配です。(S)

今の家に引っ越したときは近くの小川がごみだらけでハエやボウフラくらいしかみませんでした。しかし住民や行政が掃除するようになって、川にチョウやトンボ・小魚などが増え出し、サケまで遡するようになりました。ちょっと環境を整えると、生物が増えることを実感しました。(ワケルくん)

トマトの農家さんから形が不揃いだったり青い部分のあるトマトを、売れないうらとたくさんもらいました。味はとても美味しいのもったいない。形の良い物ばかりが店に出ています。悪いものもあってきれいなものもあることを私たちは、忘れていたのでは無いでしょうか。(中子)

投稿募集

90 号テーマ

「こんな人に「エコ」の大切さを伝えたい！」

子どもや政治家など、あなたがエコの大切さを知って欲しいと思う人と、その理由を投稿してください。

投稿方法

■投稿文とペンネームを明記し、メール・FAX・ハガキ等にて MELON へお寄せください。

ケータイからの投稿は QR コードからご覧いただくとう簡単です。



■締め切り：9月13日(月)

編集後記

- 6月からアルバイトをしている後藤です。蒸し暑くて寝苦しい毎日ですが、押入れから扇風機を引っ張り出して、暑さに負けずに頑張ります。(後藤)
- 先月から友人の借りた畑と一緒に農作業を始めました。まだ何もわかりませんが、周囲のおじさま・おばさまにかまってもらい、童心にかえって土いじりをするだけで、すでに満足しています。(小林)
- 愛娘も1歳9ヶ月になり外を元気いっぱい走り回っています。子どもと手をつないで公園に行くという夢が叶い幸せです。(井上)
- 暑くなってきましたね。最近、男性と女性の冷暖房の体感温度の違いを痛感しています。電車やお店も寒くないですか?! 外との気温差に耐えられません・・・(廣重)

MELON イベント情報

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

各イベント参加者募集中です。詳しくは MELON 事務局までお問合せください。

※部会・プロジェクトの例会や活動については MELON 会員の方が参加できます。会員以外の方も1回オブザーバー参加できます。

8/3(火)	企業&環境プロジェクト例会
8/3~4	クリネックススタジアム宮城でエコ体験ブースを出展
8/7(土)	第5回市民活き生き健康フェスティバル(登米市)に出展
8/21(土)	第6回 MELON 環境市民講座 「親子でエコ・クッキング」 MELONcafe プチ講座 「天然素材でアロマのバスボム作り」 水部会例会
8/23(月)	エコシティ仙台プロデュースプロジェクト検討会議
8/24(火)	ごみ減量プロジェクト例会
8/27~28(金、土)	89ERS ボランティア説明会に参加
8/28(土)	「まちなかエコマルシェ」出展
8/31(火)	情報センター運営員会
9/5(日)	「エコフェスタ 2010」に出展
9/18(土)	水部会例会 MELONcafe プチ講座 「ハーブの手練りせっけん」
9/23(木・祝)	水部会「名水」調査活動
9/25(土)	まちなかエコマルシェ出展
9/27(月)	緑・食部会公開勉強会「生物多様性を考える」(仮)

※日程や内容の変更、上記以外にもイベント開催する場合があります。ご了承ください。

会員状況

1,034 名
法人 100
任意団体 16
個人 918
2010年6月17日現在

ボランティアポイントカードをご活用ください

部会・プロジェクトの例会、イベントにボランティア参加する際にボランティアポイントカードをお持ちください。1回の参加で1スタンプを捺印します。5つ貯まると MELON 協力商品券(1,000円分)と交換できます。カードを紛失した方は事務局までご連絡いただければ再発行いたします。



MELON 協力商品券を利用しましょう。



「MELON 協力商品券」を積極的にご利用ください。利用額の一部が MELON に寄附され、皆さんの日頃のお買い物行動から環境を守る活動に役立つ仕組みが作られています。



この印刷物は、輸送マイルージ低減による CO₂ 削減や地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷しており、印刷用紙へのリサイクルが可能です。

※ MELON 情報紙は再生紙を使用しています。